

市民諸君に訴ふ

東電會社は全市を眞暗闇にせんとす

我東電従業員組合は最後まで市民諸君の電燈を死守するであらう

然しながら市民諸君よ!! 會社は我々従業員に對して、單に我々が組合を組織したといふ丈で、我々にあらゆる残忍暴逆なる壓迫を加へて居る。職務上の權威を亂用して、或は脱會を強要し、或は辭職を迫るなどあらゆる壓迫を加へて、全組合員を憤激せしめてゐるのだ

電氣學校卒業の初任給が

壹圓拾錢

平均給料が壹圓四拾何錢と聞いたたら、それ丈で我々の待遇が如何に劣悪であるかに驚かれるだらう、此の待遇に就いては會社さへ表面改善するといつてはゐるが然しながら

會社は組合を壓迫すると暴言して居る

組合をつぶしてしたへば又待遇の改善を誰も保證する事は出来ないのだ、然も會社はやるならやれとまで我々にストライキを迫つて居る、即ち我々に對して

電燈を消すならけせ!!

と暴言して居るのだ、我々は最後迄公共事業の責任を重んじ市民の電燈を死守する決心である、然しながら市民諸君よ會社側のかゝる暴慢無禮な態度が、我々にストライキを強要して居るのだ、萬一の事があるならば、そして東京全市が眞暗闇になるならばそれは明に會社の責任である

希くは市民諸君よ本組合の目下の苦衷を諒察せられ、市民諸君の絶大なる輿論の力によつて會社當局に猛省を促されんことを

東京市下谷區御徒町三ノ六二

大正十五年四月

東電従業員組合本部